



発行
日芸フォークソングクラブ
OB会 事務局
会長 吉田靖

OB会 設立総会の模様

特集

平成十七年十一月十九日

日芸フォークソングクラブOB会設立準備会から約一年が経ちました平成十七年十一月十九日に、ここ日芸江古田校舎十一番教室においてOB会設立総会が開催され、めでたくOB会が正式に発足しました。この会報はその模様及び内容をお伝えするとともに、規約に基づき会員相互の親睦を図るために発行します。どうか未永く、長い目でご愛顧ください。

OB会の活動予定

- ・新規会員の勧誘、連絡先の整理
- ・OB会員相互の親睦
- ・現役クラブ員への支援と助言
- ・ホームページの維持管理
- ・会報の発行
- ・ライブイベント等の開催

←設立総会集合写真 ※1



OB会会費は2年間で1000円です。振込先は下記の口座をお願いします。

- | | | | | |
|-----------|---------|------------|-----------------|---------|
| 1.郵便局・ばるる | 記号10160 | 番号96787621 | NUAF-OB会 | 会計 小寺眞弓 |
| 2.東京三菱銀行 | 江古田支店 | 普通1390008 | 日芸フォークソングクラブOB会 | 小寺眞弓 |
| 3.みずほ銀行 | 江古田支店 | 普通1004371 | 日芸フォークソングクラブOB会 | |

吉田会長の挨拶



たくさんの皆様、こんばんは。遠くからこれている方もおられますが、ご苦労様です。何かある度に初代初代ともちあげてもらって、いつも開会の辞や挨拶などをやらせて頂いています。本日は僕などより、もっと一生懸命OB会を立ち上げようと、毎月のように寄り集まって、色々話ししてくれた人たちに、まず心から感謝したいと思います。

祝 四月より東京に赴任予定！

私自身は今、大阪に住んで、仕事をしているので、時々皆さんのご意見とか、そういつたものをお聞きして、うんうん、とうなずいているだけの状態です。何もできなかったんですけど、とにかく十一月にまずは一回OB会をやるうじやないか？と云うことで今日の目を迎えました。もうフォークソングクラブも三十年……三十年とは大変な時間の流れですよ。このままジジーになつてしまつて死んでしまつたら……本当に不謹慎かもしれないけれど、残念ながら亡くなられたOBもいらつしやるので……これはいかんと思つてました。



そうはいってもたくさんの人がいて、代が違えば年も違いますが、名前も性格も知らない人の方が多いのです。しかし、そんな中でただ一点、その人達が日芸芸術学部のフォークソングクラブにいたと言ふ、その共通項で集まって、同じように、そのことを熱く語り合える……そういうことが一年に一回くらいあつてもいいじゃないかという気持ちを強く感じます。私自身は現役の時から別に音楽がものすごくうまかつた訳でもありません。しかし、プロや社会人になつたらできないことをやりたい、できれば損得づくではないつきあひができる人間を一人でも多くもてることを願つていました。そして今も皆に聞いてほしいことや、もう一度みんなに話したいことがたくさんあるし、一部のOBの心ある人たちが昔の仲間を集めて、コンサートを開いたりしてくれて……。そうすると、ぜひ吉田さんも唄って下さいよと誘ってくれる。嬉しいですね。でも悲しいことにもうギターを引く手が、ふにやふにやになつちやうて、ろくに

設立総会にご出席者の皆様（順不同敬称略）

- 吉田靖、本館武司、坪井正彦、山田仁、松島未沙、富永佳生、小寺眞弓、鎌倉克行、村上孝磨、村上美保、遠藤文章、荒田正行、志賀聖子、平野誠、土橋浩三、森信英、浅石健、越智仁、富永裕美、小林美、竹内義章、新山芳美、山田洋子、森本英志、長南秀明、野呂孝司、飯浜聡、塩沢純、徳江久美子、保倉俊一、鈴木弘子、松尾孝二、原田淳、萩原啓一郎、高田裕次、有信康、水谷信、山田歩、鈴木幹、花形裕、村井香里、小貫久史、中坪聡、大野剛明、熊谷俊一郎、美甘真一、早川誠一郎、鈴木潤一、水野克樹、大内貴博、新川淳史

総会当日Facebookメッセージがありました。
日本大学芸術学部交友会熊本県支部様から
「本日はフォークソングクラブOB会設立おめでとうございます。」

準備会より新事務局へ

設立総会を最後に設立準備会は解散し、新しい幹事及び事務局にその役割を移します。今までご苦労様でした。正式に設立したとはいえ、まだまだ器だけ整つたのみで、中身は全然充実していません。OBの皆様一人一人の協力でこの会は成り立っていくと思つています。世代を超え、場所を超えて、自身の濃い会にしていきたいことにご協力ください。幹事、事務局は、我々と共にご協力いただける方を実行委員としていつでも募集しています。詳しくは事務局までメールか郵送にてお願いします。



準備会事務局 富永佳生

※1

当日の集合写真の焼き増しをご希望の方は画像データでしたらメールにて、写真をご希望なら、その旨を事務局までお申し出ください。数に限りはありませんが写真の場合は送料と写真代として二百円分の切手をお送りください。

第4代OB 小林実さんの熱血レポート

世代を超えた交流と新たなフオークの絆が生まれたOB会設立総会。その模様を第四代的小林実さんが熱くレポートしてくれました。



小林実 (こばやしみのる)
東京都杉並区在住
日芸フォークソングクラブ
第四代、設立準備会では、
会報担当幹事を務める。

◆会報をごらんの皆さん、ひっそりいっ!

それとはじめてましてっ! 日芸フォークソングクラブが発足して早三十年(以上)経ちました。その平成十七年十一月十九日に私、四代小林実がこの日芸フォークソングクラブOB会設立総会に集うことができたのは何て幸せなんだろう。集いたくても集えなかった友のことを思い、改めて感慨深いものが溢れ出てきました。

平成十六年の十一月の設立準備会から約一年が経ちました。改装中の日芸芸古田校舎、十一番教室に集まり、北は岩手南は大分からはるばる集まったOBは四十二人現役生三人、和田先生は所要で出席されませんでしたが、「みんな仲良く」との伝言が伝えられ、その言葉からOB会設立総会は始まりました。

準備委員会の会長で初代の部長である、吉田靖さんの情熱的な挨拶から始まり、準備委員会の事務局として中心的に動かれた富永さんの準備会の経過報告には、数々の「苦労が二ジミました。」

(奥様ともども、ありがとうございます)

日藝を出てからまた再び 皆が同じ舟で漕ぎ出そうとしている

会の当初、ぎこちなかった雰囲気、吉田さんの「みんな自己紹介して前につめようよ」という提案で、ばらばらに座っていた参加者が一言挨拶をして教室の前のようにつめ、舞台と観客ではなく、車座の雰囲気になり、一体感が増してきました。

◆設立総会の進行あらまし(会メンバー選出)

◆ 今回の議長は初代、というより正確にいきますとZERO代の本館さんに決まりました。(初代吉田さんの一代上) 学生時代からヒジョーに道理/礼節にキビシク、また情に厚い先輩であり議長には最もふさわしい方ではないかと思えます。(一方、学生時代のお部屋では朝は必ず、シユガーベイブから始まりました。)



◆ 初代会長は準備会の会長でもある吉田さんに即決! フォークソングクラブ初代部長です。常に謙遜されますがそのご苦労、ご努力があつてこそ今のクラブがあります。昔、先輩のお部屋へ度々お邪魔しておりましたがその壁には「荒井由美」デビュコンサートのポスターが貼つてありいつも「これ、いったんだよ、達郎とか細野さんとか色々いてさあ、楽しかったぜえ」と話されていたこと、今も思い出します

◆ 会計監査には坪井先輩。

◆ 吉田先輩の相方、同志であり、ストラトを泣かせる名人でもあります。

◆ 幹事、会計諸氏、選出(順不同、敬称略)。

◆ 十代松尾、十二代鈴木、十一代萩原、十五代中坪、三代小寺、四代新山、十三代花形、三代村上の各氏を選出とこあいさつ。

◆ インターネット担当・松尾さんから

毎日とか全部とかでなく、少しづつ更新のお手伝い出来る方募集します。ハッキリ言って独りでは大変です。今、メールの管理等やっています。補佐していただける方を募集しています。誰か手伝ってくれる人、メールが行く時は少しずつお手伝い頂ければ・・・毎日やるのではなく少しづつ、「今回の更新ではどなたの代にお願いします」とかやっていきたいと思えます。

◆ 会計担当・小寺さんから

いつまでも年寄り(?)がやっているわけには行かないので、若い世代の方、気持ちに向いた方はぜひお手伝いを。

◆ 事務局・花形さんから

みなさんの個人名簿については責任を持って預からせていただくこと、十八代から下へ拡げていく努力を今後も続けていきたいと思えます。

◆ 事務局・村上さんから

次の総会では、出席数が二倍になるようにしたい。

◆ 会則の質疑応答から

◆ 会費は当初二年間で千円であること(必要最低限の維持費として当初の会員を五十名から百名予想していること)

◆ 通信費もメール等を併用してなんとかこなそうとしていることなどご説明カンパはいつでも受け付けますとのことです!

どんな形であれ 腕に覚えがあつてもなくても 皆で協力しませう! 皆の会なんだから

◆ 締めは、この日のためにハルバル大分県からお越しいただいた遠藤先輩。(生ギター弾かせたら止まらないよっ!)

◆ 以降、二次会、三次会・・・n次会と宴はつづく

◆ 懇親会(江古田)

準備会事務局の(富永)カセさんからのご提供によるプレゼン大会。かなりの数のプレゼンが準備され、みんなニコリ。五百円じゃんけん奪戦では優勝者がOB会に寄付をするというサプライズまでありました。なぜか、同席した別テーブルの親子連れから、ごあいさつありモリアガル。他のテーブルからも。ひとえに幹事萩原さんの盛り上げ上手からか・・・

貸切ではないのですが、店がひとつになつた懇親会でありました。締めは、やはり日大節。小林が首頭を務めました。もうはるか昔のことと故、途中で幹事の萩原君にバトンタッチしてしまいました。懐かしがる方や、初めて見る方いろいろな思いを混ぜ合わせて、宴は続きました。

◆ 二次会(江古田)

大きいテーブルで三つほどに分かれてしまいましたが、それぞれで話が盛り上がりつつありました。また、仕事の都合などで懇親会から、また二次会から参加という方々もおりました。みなさん忙しいところをよくぞ駆けつけてくれました。どんな出会いであれ、会は、とても、とても盛り上がりました。

◆ 三代先輩佐藤さんから昔

◆ 俺らは魂の兄弟だから

と云つて、魂シャツと名づけたお揃いのTシャツを着たりなんかしてました。(ちよつと大時代的な言い方ではあります。根っこは同じなんだと。)

まさにそう。ずっと離れていても魂の兄弟。たとえ初対面であっても日芸フォークで結ばれた魂の兄弟。どこまでも話は絶えず、話題は尽きず、ハートに再び温かい何かをとらせた夜でありました。

◆ みなさん、ありがとうございます! そして、これからもよろしく!



総会に出席して

この一年間の準備会諸君のたくさんの方の無料奉仕のためにより、こうしてようやく正式にOB会がスタートできたことは本当にうれしく思います。それぞれが忙しい中で、何度もミーティングを重ね、会員の名簿づくりや会則の原案づくり等、私にはメールのやりとりの内容でしかその大変さやうかがい知れませんが、重ね重ね準備会諸君には頭が下がっていると思います。総会出席者は、連絡がとれない代があったりして、残念ながら予想よりは少なかつたかなとは思いましたが、それでも、それは三十年の間ほつておいた訳だからしょうがないのかなと思ったりもしております。発足当初に居合わせた一人一人としては重く責任を感じているところです。今後、徐々に輪が広がっていくように期待しましょう。懐かしい顔に会える楽しみ、接点はなくとも青春を同じ空間で過ごした仲間と会える楽しみ、OB会にうんちくは必要ないでしょう。

OB会からの

メールをもらうたび

初代 本館武司

今は地方在住で仕事と家庭生活に追われる身のは、青春真っ只中の大学生活やクラブでの日々を懐かしみ、あの頃の思い出に浸ります。設立総会の日程が決まった途端、職場に休みを申請し、家族にはOB会のため泊まりで出かける由を伝え、早々、出席できるよう根回し、総会の日を楽しみにしておりました。

当日は我が同期の出席は三人だけと寂しかったのですが、何十年ぶりに会う先輩や後輩たちの懐かしこと。顔は判るのだけど名前を思い出せない人もちらほら。若い人の参加が少ないのに比べ、倶楽部創立当時の先輩方の遠路遠くからの参加の何と多いこと。まあ若い人は仕事や家庭生活に追われる年代ですので、しょうがないのかもかもしれませんね。

準備会も主上の先輩方を中心にご尽力いただいたとこのことで、何もお手伝いできず申し訳ない気持ちで一杯です。せめてOB会のHPを覗いたり、年に一度のOB会にはできるだけ参加するなど、自分なりにできることで気持ちにはOB会と繋がっていきたいと思います。そしていつの日か自由に動ける年代になったら（使いたいものにならない程年若いいたらゴメンナサイ）、OB会のために何らかの協力をしていきたいと思います。役員の皆様、これからも大変でしょうが、OB会をよろしくお願ひします。会報をご覧の一般会員の皆様も動き出したばかりのOB会を盛り上げていきましよう！

第九代 徳江久美子（旧姓 浅井 通称 スー）



日芸フォークソングクラブ 設立総会 参加者のお言葉

幸いにも時間が取れて

総会と懇親会の両方に参加させて頂きました。会場となった我が母校へと向かいながら不思議な感覚を覚えました。電車が東京に近づくにつれ、気持ちが少しずつ変化して、池袋で西武練の切符を買う頃にはすっかり当時の自分になってるんです。江古田駅のホームに着いた時はもう当時のまんまの姿をした友達を探す始末。居そうな感じがしたんです！ほんと！

懇親会に参加しました。

みなさん、まだまだミュージック・スピリッツといった元気な方ばかりで楽しかったです。音楽の話をするときの子供のようにはしゃぎっぷりが嬉しいと思いました。音楽って歳をとらないんですね。これからもよろしくおねがいします。

第十四代 村井香里

総会も懇親会も、

とにかく行ってみようという気持ちで行ったので、どんな事になるか予想もつかずドキドキしておりました。しかし、いざ始まってみると先輩後輩の上下関係から来る堅苦しさも感じられず、和気あいあいとしていて、ホッとしました。第一回目の総会という事で雰囲気もつかめたので、こんな感じで回を重ねていければ、楽しい集まりになるのではないかと思います。

懇親会は酒も入り、さらにリラックした雰囲気楽しめたのが良かったと思います。懐かしい先輩と酒を飲み学生時代を思い返す、まだそんな感じじゃないと、ある先輩は言っていました。遠からずそんな事が楽しみとなる日が来るという予感がした一日でした。僕も歳をとったということか...

現役部長の声

総会時の現役部長(?) (もう1つ後の代になってしまったので) もう少ししたら私達もお世話になるかと思ひます。そのときはよろしくお願ひいたします。

第十九代 早川誠一郎



第十二代 水谷信



華々しく設立された

日芸フォークソングクラブOB会ですが、二次会の席でシンボルマークを作ろうという話が出ました。幹事会で話し合った結果、正式に作ることに、そのデザインを十四代村井さんをお願いすることになりました。いくつデザインしていただいた中から、会員の皆様のご意見を取り入れて決定しようと考えています。左記の四つのデザインの中から、お好きなデザインをお選びいただいて、OB会事務局の方に連絡ください。どれもすてきなデザインで、幹事会でもなかなか決定することができません。OB会の方のご意見を参考に幹事会で決定したいと考えています。締め切りは次回の会報発行予定の十月上旬までとします。ご連絡方法はメールまたはホームページ上の投稿掲示板、事務局へのはがきなどお好きな方法でかまいません。よろしくお願ひします。

OB会のシンボルマークデザイン



a:)arrow



b:)fish



c:)dinosaur



d:)sea horse

日芸フォークソングクラブOB会事務局
〒176-0021
東京都練馬区貫井4-5-5 (富永佳生方)
ホームページ及びメールアドレス
<http://www.nuaf-ob.jp/> / 携帯電話からもアクセス可能
info@nuaf-ob.jp

現役時代から

OBとの関係が深く、一年の夏合宿でOBの遠藤さんや長南さんと一緒に合宿所を抜け出し、当時の副部長浅井さんなどに叱られて便所掃除をさせられたりしました。僕にとってはOB方は恐れ多いものではなく、兄貴的な存在でした。

そんな感覚から二年の時は卒業していく先輩のバンドの名前を引き継いで「ロースラベンダーボブリー」というバンドで三人編成のコーラスバンドを作っていました。卒業と同時に疎遠になりましたが、今回OB会結成ということで私の趣味(パソコン)と仕事(ムービーカメラマン)で養ったことをOB会のために費やそうと考えています。よろしくお願ひします。



第十代 松尾孝二(インターネット担当幹事)

みなさんこんにちは



幹事をやることになった十二代で副部長をやっていた鈴木幹です。準備会からの流れで幹事になつてしまいました。一年はあっという間に過ぎました。これからもとにかくあつという間でしょう、同じあつという間なら楽しいあつという間にしたいと思つてます。みなさん、もう一度楽器を手にしてみてください、ライヴやりましょう。

僕は現役時代はバンドでアコギを弾きながら、をやってました。主に吉田拓郎、甲斐バンド、浜省、などのコピー、後はオリジナルなどをやとりました。とにかくへたつてぶで楽しかったです。今でも適当に仕事をしながら歌はやめずラィヴハウスなどで歌つてます。また懐かしい顔が集まれば遊べたら楽しいですね。という訳でイベント関係をやって行こうと思つてます。よろしくお願ひします。

第十二代 鈴木幹(イベント担当幹事)

十五代中坪聡です。

現役の時にはボーカルやつてわめておりました。それにしても、総会&二次会、三次会、非常に有意義な時間をすごさせていただきました。初対面の先輩でも会うと懐かしいのはなんなのでしょう。フォークの魂が呼ぶのかも知れません。総会を通じて私が個人的に「フォーク魂」を感じたのは四次会、江古田の某カラオケボックスで行ったのですが、いつしか曲を入れず、生ギターでのセッション大会に、やはりさすがです。今後ともよろしくお願ひいたします。



第十五代 中坪聡(会報担当幹事)

日芸フォークソングクラブ OB会幹事の挨拶

現役中は音楽学科

(ピアノ科)に在籍し、クラブでは吉田美奈子やCharの曲をやつていました。担当はキーボードでした。現在は某学院にて国家資格の取得を目指す生徒達に音楽理論やピアノレッスンをしていますが、2年前から4代森君のスタジオでメンバーに加えていただきバンドの練習をしています。月一回の練習が今の私のエネルギー源となっています。去年、演劇学科に入学した娘と一緒にバンドの練習に参加したり、ライヴに行つたりしていますが、子供の成長と共に親子の関係が希薄になっていく時代にくらして共通の趣味を持つていられるのもフォークソングクラブのお陰だと感謝しています。子育てが一段落し、また自分の人生を考えたい時、気の許せる仲間が回りにいることの幸せ・・・OB会がそんな場になれる事をめざし、微力ではありますが頑張つていこうと思ひます。よろしくお願ひします。



第三代 小寺真弓(会計)

音程を奏でる弦楽器や

鍵盤楽器を操る人に敬意を払いつつ、18才で始めたドラムを一生懸命叩いていました。現在は、スポーツ選手から老人までいろんな方を相手に、リハビリ助手・整体を生業としています。結婚式の余興やら、飲み会の出し物として。結婚式の日大節をやらされたりします。

腕時計を吹っ飛ばしたり、鍋をひっくり返したり・・・最近では最後の三・三・七拍子まで体力がもたせません。とりえずイベント・企画部門を担当する事になりました。大きな事はできませんが、動き始めたばかりのOB会と共に成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



第十一代 萩原敬一郎(イベント担当幹事)

三代目の副部長でした

入部願ひを持って部室に初めて行った日から、現会長の吉田さん(当時の部長)に、「お前なんか入れてやらない」と言われました。それでも無理やり入部して、ひたすら生ギターでスリーフィンガーをやつていました。あの頃コピーしていた曲・・・特にオフコースとその残党の曲は今でも聴いていますし、元気が出るような気がします。髪の毛と引き換えになくしたのも多い中で、三十年経つても声をかけてくれる友がいること、ありがたさ・・・それが、かけがえの無いものであることがだんだん心にしみる年齢になってきた今、OB会の設立準備に参加できたことは、幸せな思い出になりました。昨年の準備活動の中で、同じ空間や音楽環境を共有した後輩の皆さんと知り合うことが出来てとても嬉しかったです。音楽の話をしていると、あの頃ることが昨日の様です。今後、更に若い世代の方々が、もっともつと参加しやす



1985年入学

第三代 村上孝鷹(OB会事務局)

十三代副部長を務めておりました花形裕です。十三代は人数の少ない代で、最終的に男は三人だけの女系家族でした。優しく、頼もしい女達に尻を叩かれながら楽しく過ごしました。バンドではエレクトリックギターを担当しておりましたが、三年の時のバンドではオリジナルを発表し続け、半年で都合二十曲くらい作りました。毎週新曲を作つていたので、メンバーからは嫌われていました。みんなごめんOB会の発足についてですが、一年間の準備期間があつて正解だったと思ひます。一年前は上の代の方も下の代の方もどこか懐疑的に集まり、どこから手をつけてよいかわからない謎の集合体でしたが、準備会と称して毎月集まつて方向性を見出していったことがOB会の原点になったと思ひます。私は卒業してからもライヴや合宿を企画・実行してきました。要はみんなで騒ぐことが大好きな人間です。OB会事務局という重要な職務ですが、楽しみながらやっていきたいです。あー早くみんなで騒ぎたい。



総会当日は受付で

第十三代 花形裕(OB会事務局)

集金係をしておりました。当日は手際が悪かったり、説明不足などで参加された方の一部にはご迷惑をかけたことと思ひます。これから次の総会まで会計をつとめることになりました。不慣れで気が回らないことも多々あると思ひますがよろしくお願ひします。実は私は在籍当時、クラブ以外にもバンドをやつていてそれが理由で二年生の時に退部しました。そんな私をOB会に誘つて頂いたことは嬉しく思つています。様々な考えの方がいたり、スケジュール調整が難しかったりだと思ひますが、みんなが楽しく参加できるようにOB会になれば願ひしています。



第四代 新山芳美(会計)

編集後記

長らくお待ちしました。OB会の会報がようやく完成しました。お正月にはお届けできるかと思つていましたが、いろいろと条件がそろわず、現在に至つてしまいました。設立総会の興奮もこの例年になく寒波の影響もあり、すっかり冷めきつてしまつたようですが、OB会事務局、幹事会とも今年一年のOB会をいかにして盛り上げていこうかと考えています。また、OB会の設立にご協力ください。諸先輩、後輩諸氏に感謝を込めて、今後の会の運営について思つていいます。叱咤激励のお言葉を待っています。(松尾孝二)

小林先輩の総会リポート。熱いです。最高です。写真を撮つてくださったのはカメラマンとして活躍する浅石先輩、さすがです。(中坪聡)